合格体験記 ～成功談から失敗談まで～

令和6 年度卒業生から後輩のみなさんへ

文系　国公立大学 一般前期　合格

私は保育関係の仕事に就きたいという夢があったので、高校１年生の頃から県内の国公立大 学に進学したいと考えていました。私は 2 年生の面談のときに勧められ、夏に実際にオープンキャンパスに行きました。この大学は幼稚園教諭の免許や保育士資格だけでなく小学校教諭や 特別支援教諭の免許も取ることができると知り、私は特別支援にも少し興味があったので志望校 を決定しました。

1～2 年生の頃は部活と勉強の両立に励みました。私が所属していた部活動は基本週一回しか休みがなく、自由参加でしたが朝練もありました。そのため、ほぼ毎日朝早くから最終下校時刻まで学校にいたので平日は家庭学習の時間を取ることが難しく、予習・復習にまで手が回らないことが多くありました。さらに、私は塾に通っていなかったため自力で勉強するしかありませんでした。そこで、家でできない分、なるべく授業中に理解できるよう集中して一つひとつの授業を大切にしました。そして、休日に部活動がある中で、平日にできない分を補えるように予習・復習を していました。加えて、英検取得にも力を入れ、準２級と２級を取得しました。

5 月に部活を引退してから、なかなか気持ちを受験に切り替える事ができず本格的に受験に向けた勉強を始めたのは３年生の夏休みからでした。今まで苦手な教科をそのままにしていたため 基礎から覚え直しをしないといけないところもあり応用問題を解くことが難しく、模試でもあまりいい点数を取れていませんでした。そのため苦手な教科を集中的に勉強し、学校から配布された参考書などを使って他の教科も対策しました。

また、担任の先生や進路指導課の先生などと話し、２月に実施される共通テストを課す学校推薦型選抜を受けることにしました。面接は２月に実施されますが、出願は１１月であるため 10 月頃から担当の先生と一緒に志望理由書の作成を本格的に始めました。この推薦入試の面接試験には 3 分間のプレゼンテーションが含まれており、１２月後半から共テ対策を行いながら同時進行で毎日面接練習をしてもらいました。私は２年生の頃に教室の後ろの黒板に掲示されていたポスターを見て 岡山大学で保育に関する公開講座を行っていることを知り、3 回参加しました。その講座で身につけた知識や 2 年生で行った総合的な探究の時間での学習などをもとにプレゼンの準備を行いました。共テ直前の模試では初めて受けたときから 100 点以上高い点数を取ることができました。しかし、共テ本番で思うような点数を取ることができず、一般入試で第一志望にしている大学の判定は E 判定でした。しかし、先生や親と相談し、 後期の志望大学が A 判定だったこともあり第一志望の大学を受けることにしました。そこからは気持ちを切り替え、一般入試に向けた２次試験対策の補習への参加や過去問への取り組みと同時に、２月初めにある推薦入試に向けた面接練習を行いました。しかし推薦入試の結果は不合格でした。ですが、すぐに二次試験があったので結果が出てからより一層二次試験対策に力をいれ、赤本を何度も解いたり

英作文の添削をしてもらったりしました。また一緒に一般入試に向けて頑張っている友達と気持ちを共有しながら勉強することができたので前期試験で合格を掴むことができたと思います。

1、2 年生の頃はあまり受験に実感が持てず、勉強のやる気が起きなかったり課題をおろそかにしたりする人もいると思います。しかし、評定平均によって推薦を受けられないこともあるので後悔のないように頑張ってほしいと思います。また、わからないところや苦手なものはそのままにせず、先生に聞くなどして 3 年生になって基礎からやらないといけないことがないようにするといいと思います。進学先が決まる時期が人によって違うので辛いこともあると思います。一人で抱え込まず先生や一緒に頑張っている友達に相談することも大切だと思います。自分の第 一志望の大学に合格できるように最後まで諦めず頑張ってください。応援しています。

文系　国公立大学 学校推薦型選抜　合格

僕が進学先の大学を意識し始めたのは、高校 2 年生の 10 月頃です。その理由は、学費の安さと、教育学部のアドミッションポリシーや卒業されている OB、OG の方々からお聞きした大学での学びが自分の目指す教師像に合っていたからです。 結論から入ると、共通テストの結果から出された判定ではＥ判定でしたが、自分の得意なことを活かして合格できました。参考になればと思い、僕の受験生活を紹介したいと思います。

高校 2 年生の 8 月頃までは、学校の課題やテストがメインの勉強でした。自習に関しては、英語をメインに取り組んでいました。単語、熟語、文法、英文解釈の学習に力を入れ、着実に知識を増やしていきました。自習時間は正直、部活動ややボランティア活動などの関係で安定して取れてはいませんでした。(毎日の自習時間を平均すると 1 時間 30 分くらい) 2 年生の 10 月頃から本格的に受験勉強を開始しました。大体 19 時に帰宅するので、20 時までに勉強以外のことを全て終わらして 24 時まで勉強のサイクルを作りました。部活を引退してからは 18 時 30 分まで学校で自習し、22 時まで塾の自習室で勉強をしていました。勉強法は、ネットで調べたり先生から聞いたりした方法を自分なりに合った方式に変えていきました。今は、情報が沢山あるので自分に合いそうな方法があると思います。

僕が後悔していることは、①始めるのが遅かったこと、②受験を舐めていたことです。②は「自分なら結局合格する」と根拠のない自信があり、言い訳をして勉強せず時間は経過していくことがありました。経験してみると、そんな生ぬるいものでは無かったです。周りは早くから合格していくけど自分は合格を貰ってない不安の中勉強したり、共通テストで納得のいく点数が取れていなかったりする中での 勉強は苦し過ぎます。

後輩へ伝えたいことは、受験は想像の倍以上苦しいですが、必ず自分を強く大きく成長させてくれるチャンスでもあります。いつか頑張って良かったと思える日がきます。加えて、受験は何が起こるかわからないことです。僕も共通テストで失敗し、絶望感が 1 週間経っても消えずリサーチもＥ判定でしたが、自分の得意なことを活かして、なんとか合格を頂きました。色々書かせてもらいましたが、受験は自分との戦いなので、覚悟を持って勉強をして欲しいです。また、高校生でしか経験できない青春もあるので、メリハリをつけて人生を謳歌して下さい。

理系　国公立大学 学校推薦型選抜　合格

私は情報技術に関心があったことや情報技術を用いて人助けができる点に惹かれ進学する大学を志望するようになりました。

私は3年になるまで具体的な志望校が決まらず悩んでいて、本格的に勉強に取り組み始めたのは2年時の2学期頃でした。今思うと、2年の頃は実用英語検定の取得のために英語以外の教科の勉強がいい加減になっていたなと少し後悔しています。3年になってからの三者懇談で志望大学を伝えると先生から学校推薦型入試の話を聞き、推薦で受験することに決めました。ホームページや大学案内で受験の詳細を調べると、面接と英語、数学、物理の口頭試問を受けなければなりませんでした。その日から苦手意識のある数学、物理を中心に勉強に取り組みました。学校がある日は放課後に残って勉強し、わからないところは友達や先生に聞き、教えてもらう事が多かったです。夏休みにはスマホの使用時間を大きく減らし、家で集中できないときには図書館に行って勉強していました。また、受験が近づくと先生が遅い時間まで教室をあけてくださり勉強や面接練習に付き合っていただきました。各教科のたくさんの先生から指導していただき、塾などに通っていなかった自分にとって大きく成長できる機会となりました。受験する科目を中心になかでも苦手科目をなくしていくよう意識して取り組みました。

受験当日ではとても緊張しましたが、学業の面では今までの成果を発揮できたのではないかと思います。ただ、焦ってしまって言おうとしたことを忘れたり、声が震えてしまったりするなどの悔しさが残ることもありました。そのため落ちてしまったのではと考えていたので、合格を知ったときはとってもうれしかったです！

受験勉強はわたしの人生にとって良い経験になったと心から思います。皆さんに言えることとして、志望校に行きたいのであればいますぐ勉強に取り組むべきだと思います。私は正直めちゃくちゃ後悔しています。時間は限られています。勉強をしているのに伸びなかったり、理解できなかったり苦しい思いをしてしまうときは、一人で抱えずに周りの人を頼って良いと思います。私は本当にたくさんの人の支えがあっての合格なので。最後まで諦めずに取り組むと必ず合格できると思います。目標に向かって頑張ってください。応援しています！

文系　国公立大学 総合型選抜　合格

まず私が進学先の総合型選抜を受験することを決めたのは 3 年生の総高祭の準備期間中でした。私は大学で地域経済について探求したいと思っていたので、フィールドワークが活発な大学を探しました。国公立で総合型の入試を実施する大学は活動記録や明確な志望理由がないと不利なのですが、私は特に目立った活動をしてこなかったので担任の先生と総合型の受験校の相談を何度も行いました。最初は他の大学を受験しようと勧められていましたが最後は自分の意思を尊重してもらいました。今から受験対策を始めるのはかなり厳しいと言われ、なんでもっと早くからやらなかったのかと後悔しましたが自分が決めたことは基本最後までやり通したい性分なので気持ちを切り替えて対策を始めました。

一年生の頃は部活が終わると家で次の日の予習をこなしたり、小テストの勉強をしたりしていました。さらに希望者模試の募集があればすべて参加し、自分の学力を高めていました。しかし時間がすぎるにつれ段々と勉強すらしなくなっていました。そんなときに担任の英語の先生が親身になってくれて自分にいま何を勉強すべきかを教えてくれました。私は二年生の夏までに英検 2 級を取得してやる！という目標を掲げ、毎日英語の勉強を他の教科よりも多くしました。結果としては目標よりも時間がかかってしまいましたが英検 2 級を取得することができました。学校で実施されている GTEC も受験し、高スコアをとることができ、英語の力が身についてきたと実感することができました。英検と GTEC は私立の受験や一部の国公立で使えるので取っておいてほしいです。加点やみなし得点もらえます。

私がおすすめするのは学校が実施している勉強合宿や朝学には積極的に参加するということです！私は家で勉強をするときは集中力が続かないので、必然的にスマホとの距離が離れられる学校の放課後や年始の勉強合宿で勉強習慣をつちかいました。そして卒業生の方から大学についての話をたくさん聞いて大学受験のための知識を蓄えていきました。さらに友達と勉強することは自分にとってかなり刺激になりました。わからないところを質問し合い、単語の抜けている部分について問題を通して知ることができるいい機会でした。趣味が合う友達ももちろん必要ですが、勉強を一緒にしてくれる友達も同じくらい必要だと思います。

とにかく私は他の人に比べて入試対策を始めるのが遅かったので、先生に連絡を取ってもらい、地域コーディネーターの方の協力で書類の準備を進めていきました。高梁市役所の方に話をうかがい、備中県民局の方との話し合いの場を通して受験のための情報集めを急ピッチで進めていきました。時間がなかったので書類を添削してもらうために国語科の先生の試合会場に行って添削してもらうこともありました。書類提出の締切日になっても学年主任の先生から添削をしてもらい昼頃になってやっと清書に書いてもいいよと言われました。結局締め切り 30 分前に書類を提出し、本当にギリギリでした。その後は試験日まで毎日面接対策をしました。担任の先生だけでなくいろんな先生に頼み込んで面接してもらいました。友達にも面接をしてもらい、すきま時間もすべて面接の対策をしました。過去問は前々から解いていて自信があったので前日に目を通す程度でした。

私が後輩にアドバイスをするなら、まずは大学について早くから知っておくこと!!!ほんとに自分のやりたいこと、勉強したいことは何なのかを考えておいてほしいです！オープンキャンパスに参加すると大学の良し悪しがわかるのでイメージだけで終わらせずに自分の目で確かめておくことも大事です。大学受験は高校受験と違って様々な入試方式があるので受験パターンも無数にあります。直前になって焦るよりは前々からどのように受けるかを決めておくと吉！そして最後まであきらめずにトライすることが大事だと思います。総社高校は総合型や学校推薦型で受ける人が多いと思うのでボランティアをたくさんやりましょう。何回かやるだけで面接や志望理由書で使える種になるのでマジでやったほうが良いです。休日暇で勉強しないなら友達と興味ある募集に応募してボランティアしよう!!!!!!私は全くしてこなかったのでめっちゃ後悔しています。あと学校の課題は遅れてもいいのでちゃんと提出して成績を下げないようにしてください。大学出願のときに成績が足りずに受験資格すらもらえないので気を付けて。総合型の対策だけして満足せず一般に向けた勉強を並行して自分の学力を落とさないようにしてください。妥協せずにいま自分の目指している大学を受験し合格できるまで努力し続けてください。受け

身でいるのではなく、自分から先生に相談しに行ってほしいです。今のうちから勉強習慣をつけておくだけで今後受験シーズンになったとき継続できるかどうかかなり差が出ます。総高祭や球技大会も楽しんで笑顔で次のステージに進めるように応援しています。ファイト！